

# おでかけガイドマップ

おすすめの遺跡・史跡/ミュージアム

## 熱田台地をあるく①

所要時間：2時間30分（2022年4月30日踏査）

コース概要：

- 名鉄神宮前駅発→熱田神宮
- 七里の渡し（熱田湊）→白鳥古墳→断夫山古墳
- 高蔵遺跡→高座結御子神社→高蔵古墳群
- 西高蔵駅または「熱田台地をあるく②」へ！

## 熱田台地とは…

名古屋市は東側に東部丘陵、西側に沖積低地があり、その間に台地があります。考古学ではその台地の西側を熱田台地、東側を瑞穂台地と呼びます。熱田台地は北西端に名古屋城、南西端に熱田神宮があり、近世まで遠浅の海につき出した岬もしくは島でした。先史・古代の遺跡が熱田台地には多く残されています。

### ⑧高座結御子神社

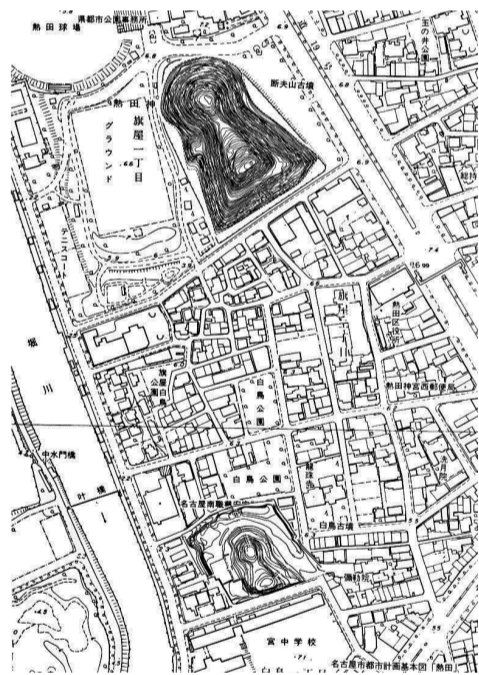
子育ての神様である「高倉下命(たかくらしのみこと)」が祀られています。熱田神宮とほぼ同じ時期に作られた歴史ある神社です。

### ⑤断夫山古墳

全長151mの前方後円墳で、東海地方最大の古墳です。後円部よりも前方部が高いという典型的な後期古墳の形態をしています。円筒埴輪などが見つかり、それによると6世紀前半の築造だと考えられます。



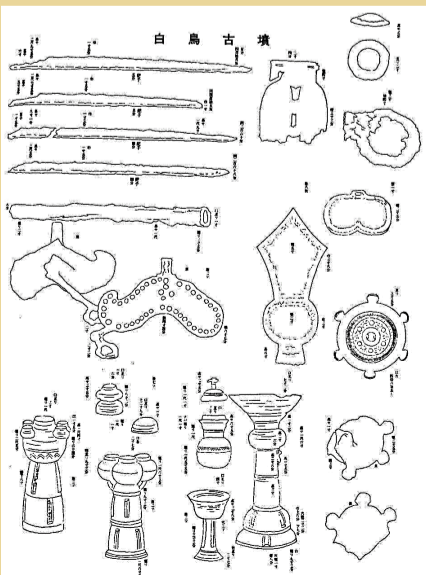
南山大学人類学博物館所蔵  
断夫山古墳出土 円筒埴輪



断夫山古墳と白鳥古墳

### ④白鳥古墳

全長約74mの前方後円墳で、鏡や馬具、須恵器、須恵質の円筒埴輪が見つかり、それらの遺物から築造年代は6世紀前半だと考えられます。



白鳥古墳出土遺物

### ③大瀬子一帯には秋葉神社がたくさん？！

東海道随一の宿場町熱田宿は旅館が248軒を擁し、桑名まで海路である七里の渡しで結ばれていました。宮の渡しに隣接して尾張藩指定の魚問屋が大瀬子に作られ、海路、陸路で魚介類が運び込まれ大繁盛した。付近は人家も密集し、住民は火事にならないようにとの願いを込め、火の神である秋葉神社を祀ったと思われます。付近には現在5社があります。

### ②七里の渡し（熱田湊）

宮の宿から桑名の宿へは、東海道唯一の海上路で、その距離にちなんで七里の渡しといわれました。宮の宿場の特徴を伝える船着場址が歴史公園として整備され、常夜灯、時の鐘などがあります。

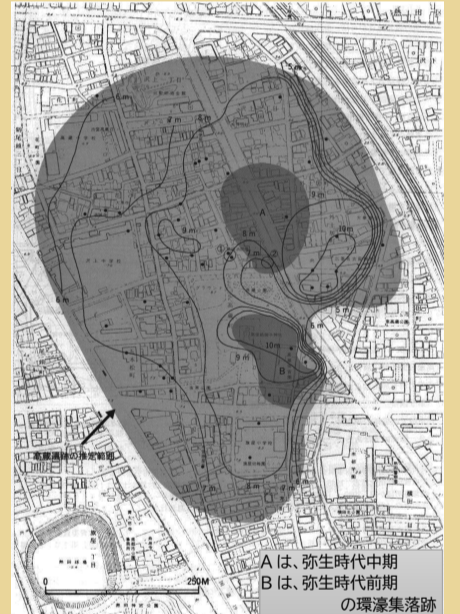


### ⑦高蔵古墳群

高蔵1号墳は、古墳時代後期（7世紀前半）に築造された直径約18mの円墳。1954年に名古屋大学が発掘調査を実施した後、破壊されて滅失しました。高蔵公園内および隣接する高座結御子神社境内に分布する3～6号墳とともに高蔵古墳群と呼ばれています。（参考：名古屋市博物館HP）

### ⑥高蔵遺跡

南北約800m、東西約600mの範囲に広がる大規模な遺跡で、80回近く発掘調査が行われています。南山大学でも調査を行っており、1985年の調査では、弥生時代前期の環濠集落、後期の方形周溝墓を検出しています。尾張地方の弥生時代後期の代表的な赤彩土器「パレススタイル土器」発祥の地としても知られています。



高蔵遺跡の範囲



南山大学人類学博物館所蔵  
高蔵遺跡出土 パレススタイル土器

### ①熱田神宮

年間約700万人の参拝者が訪れ、古くから「熱田さん」と親しまれている熱田神宮。三種の神器のひとつである「草薙神剣(くさなぎのみつぎ)」をご神体として祀る神社です。約6万坪(約19万平方メートル)の境内は、樹齢1000年を超える大楠、「剣の宝庫 草薙館」や「宝物館」にはさまざまな奉納品が収蔵展示されています。



境内に土偶が！！

宮さしめん(800円)  
飛騨牛コロッケ(200円)

